

日本農業新聞

業新聞

(第3種郵便物認可)

期待の若手ナスに奮闘

JA広島中央 仲田匠吾さん
福富町部会

父追い一念発起 生産拡大努める



ナスを定植する仲田匠吾さんと勝信さん

管理徹底し良質生産

【広島中央】JA広島中央福富町ナス部会で、最少の生産者、仲田匠吾さん(21)が奮闘している。栽培3年目を迎え、父の勝信さん(64)の背中を真ながら農業に励み、既に次世代の担い手として地域でも頼もしい存在だ。今年は過去最多の870株を栽培、管理を徹底して、良質生産、収益増を目指す。

仲田さんは高校を卒業し、仕事を選んだため退職後、いったん会社で就職。その頃、定年退職してナスの栽培を始めた父を手

市盤

4月9日の島根県西部を震源とする地震で、多くの被害に見舞われた大田市。発生から約2カ月たった現在、ブルーシートで屋根を覆ったまま

会

奥本さん(浜田)ら表彰

一面が雪のなかで足元が良

伝うらち「自分でも栽培してみたい」と思うようになり一念発起。2016年から父とは別に自分の畑で本格的に栽培を始めた。1年目は父の畑で習い、2年目からは主に父が稲作をして、仲田さんが野菜を担当する。ナス以外にもエタマメや白ネ

ギをJA産直市」となりの農家」や道の駅に出荷している他、同町特産のエゴマも栽培。今年も新たにピーマンにも挑戦す

JA岡山県女性協 伊原木知事を訪問

フードバンク協力要請

【岡山】JA岡山県女性組織協議会は7日、岡山市の泉戸へ伊原木隆太知事を表敬訪問し、意見交換をした。食と農を通じた地域の活性化・環境の保全活動で「岡山県に住んでよかった」と思ってもらえる取り組みをPRした。

一致団結し 地域活性化

【広島・安芸】JA安芸はこのほど、海田町の本店で職員OB会・農林漁業退職者連誼会安芸支部合同総会を開いた。会員ら約50人が出席。2017年度行事報告や収支決算報告、18年度行事予定などを協議し満場一致で可決した。

など4議案を承認した17年度は県版の農業産工程管理(GAP)「美味し手ね認証」